

## ●評価規準案

月	配当時間	編	学習内容（目次）	評価の観点			
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用・技能	知識・理解
4月		世界を旅する	世界を8地域に区分し、それぞれの地域の特色を代表する写真で世界への興味と関心を喚起する。第1篇2章の世界の諸地域の暮らしと文化の学習の導入にも活用できる。	【関意】 世界の諸地域への関心を高め、世界地誌学習に意欲的に取り組もうとする。	【思判表】 世界の諸地域の自然環境と人間活動・文化の関係を理解する。	【技】 写真や地図などを読み解く。世界地図上でそれぞれの地域を概観できる。	【知・理】
		第1編	第1章 地球儀や地図とらえる現代世界 1 宇宙からみた地球ー地球儀を使って 2 さまざまな世界地図 3 世界地図上の方位と時差 4 国家と領域 5 強まる世界の結びつき	人間の住む惑星地球に関心を持つ。球面上の世界を表す世界地図と時差について関心を持っている。	地球上の位置を経度と緯度から判断できる。用途に応じて様々世界地図を活用する。時差のある地球をイメージする。	地球儀や世界地図で緯度経度を読み取ることができる。世界の等時帯地図から時差を計算できる。	日本の領土と排他的経済水域を概観できる。国家と領域をめぐる世界各地に領土問題が発生していることを理解する。
5月 6月		現代世界の特色と諸課題の地理的考察	第2章 世界の諸地域の暮らしと文化 1節 自然環境と人びとの暮らし 1 世界の地形 2 世界の気候 3 水と人びとの生活 4 世界の民族と宗教	自然環境を形成する地形や気候について関心を高め、生活・文化と関連付ける視点を身に着ける。	世界の生活・文化について、地理的環境や民族性に関連付けて考察している。人々の生活と水の関係を理解できる。	世界の大地形に関する地図を読み取る。気温と降水量のグラフから気候を区分できる。	世界の地体構造を概観できる。世界の民族や宗教の分布と特色を大まかに理解できる。
		5	2節 東アジアの人びとの暮らし 1 東アジアの多様性と共通性 2 中国のあゆみと人びとの生活の変化 3 「世界の工場」中国工業のゆくえ 4 農村の変化と広がる地域格差 5 韓国社会の変化	日本の近隣諸国の東アジア文化圏について関心を高める。国家の分断の歴史を理解する。	中国の改革開放政策と経済発展について関連付けて理解できる。世界経済における中国の工業生産を把握している。	中国経済について適切な統計資料の読み取りができる。朝鮮半島の地図が概観でき、分断国家の現実を各種資料から読み取れる。	中国の拡大する地域格差について理解している。中国国内の民族問題の重要性を知る。
		5	3節 東南・南アジアの人びとの暮らし 1 東南・南アジアの自然と宗教 2 ヒンドゥー教徒の暮らし 3 東南・南アジアの農業・漁業 4 ASEANの経済発展 5 インドの経済発展と産業	モンスーンは人びとの生活にどの異様な影響をもたらしているか考察できる。	多重複合的文化の特徴を知る。ヒンドゥー教の伝統と暮らしを理解できる。	東南アジア・南アジア：の農業とモンスーンの関係を地図で理解できる。	ASEANの貿易構造の変化をグラフで理解できる。インドの経済発展ICT産業の発達によることを知っている。
7月		4	4節 中央・西アジア、北アフリカの人びとの暮らし 1 中央・西アジア、北アフリカの自然と宗教 2 石油資源に恵まれる地域 3 西アジア、北アフリカで続く紛争 4 ユーラシア大陸を東西につなぐ中央アジア	日本とは異なる自然環境や文化に興味と関心を持てる。石油資源の宝庫に関心を持てる。	乾燥地域の人びとの生活とイスラームの関係を異文化理解の視点で巻考える。	近代化の著しいペルシャ湾岸地域の地図や写真から実態を知る。イスラエルとパレスチナの関係を地図で説明できる。	石油を運ぶ新たな「シルクロード」として中央アジアのパイプラインが注目されていることを知る。
		4	5節 中・南アフリカの人びとの暮らし 1 中・南アフリカの自然と生活・文化 2 一次産品依存の農業からの脱却 3 グローバル化と資源争奪 4 アパルトヘイト後の南アフリカ共和国	広大なアフリカ大陸に旧宗主国の影響が残る54か国が存在することに興味・関心を持つ。	アフリカの産業発展には一次産品依存からの脱却が課題であることを理解する。	アフリカの主な国の輸出品目のグラフから農業中心の一次産品で代表な産物を理解する。	アフリカの鉱産資源の分布図からレアメタルなど資源争奪と紛争との関係を理解する。

月	配当時間	編	学習内容（目次）	評価の観点			
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
9 月 10 月		6	6節 ヨーロッパとロシアの人びとの暮らし 1 ヨーロッパの自然環境と民族・宗教 2 結びつきを強めるヨーロッパ 3 ヨーロッパの産業 4 東ヨーロッパ諸国の変化 5 ヨーロッパの民族問題 6 ロシアの人びとの暮らし	ヨーロッパの自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景を概観し、国家間の統合に興味・関心を深める。キリスト教にねざした文化的特色についても関心を高める。	ヨーロッパの国家間の統合が進められてきた原因や、可能となった理由を適切に把握している。ロシアの多様性と可能性について知る。	ヨーロッパの統合について加盟国の変遷、EUの組織図など理解を深める。ヨーロッパの地域的特色について、情報を適切に選択し図表などにまとめたりできる。	ヨーロッパ産業の中核である「ブルーバナナ」の意味が理解できている。ヨーロッパ各地の少数民族問題、増加する移民などを知る。ユーゴスラビアの解体を例に民族紛争の知識を身につける。
		5	7節 北アメリカの人びとの暮らし 1 多様な北アメリカの自然環境 2 多様な民族からなる北アメリカ 3 世界規模のアメリカ農業と関連産業 4 アメリカの工業と産業構造の変化 5 アメリカの都市の変化	雄大な地形と東西・南北で大きく異なる気候に関心を持たせる。世界最大の農業大国と工業先進国の二面性を知る。	アメリカ合衆国が世界で最も発達した産業先進国となりえた理由を考察できる。	アメリカ合衆国の主題図や各種の統計などを読み取ったり図表などにまとめたりできる。	多様な民族からなる北アメリカの文化が世界中からの移民によりもたらされて、独自の発達を遂げていることを四大スポーツなどで理解する。
11 月 12 月		4	8節 中央・南アメリカの人びとの暮らし 1 中央・南アメリカの自然と地域の特徴 2 アメリカ依存から脱却をめざす中央・南アメリカ 3 中央アメリカ、カリブ海地域の自然と人びとの暮らし 4 ブラジルの経済成長と環境破壊	ラテンアメリカの多様性は民族の混血化により進んでいることに興味・関心を持つ。ブラジルなどの経済発展を取り上げ関心を高める。	ラテンアメリカの大土地所有制が残存していることを知る。ブラジルなど経済発展と環境破壊の関係が課題であることを知る。	ラテンアメリカの公用語と民族構成の主題図を理解する。アンデス地域の高地の暮らしに理解を深める。	NAFTAやMERCOSURなど市場統合が進んでいることを知る。ブラジルがBRICSの一員であることを知る。アンデス原産の作物にトウモロコシ、ジャガモ、トマトなどがあり、世界中に栽培地域が拡大したことを知る。
		3	9節 オセアニアの人びとの暮らし 1 オセアニアの自然環境と暮らし 2 オセアニアの産業 3 太平洋の島じまと暮らし	オーストラリアが白豪主義から多文化主義に変化して、アジアとの関係が強まったことを知らせ、興味と関心を持たせる。	オーストラリアがなぜ多文化主義となったのか、考えてみる。豊富な鉱産資源が日本の工業原料となり、日本の重要な貿易相手国であることを理解する。	オーストラリアの貿易品目や輸出先を地図化できる。太平洋の中での島じまの位置関係を概観できる。	核実験地となった太平洋の島じまの被害と、反核・平和への動きの歴史を知る。
		第3章 地球的課題の地理的考察					
		3	1節 地球環境問題 1 地球温暖化とその影響 2 地球温暖化防止のための国際協力 3 進む森林破壊とその影響	地球温暖化が全地球規模の課題であり、人類が引き起こした課題であることに関心を持たせる。	温暖化の影響で起きるさまざまな問題に対処するため、持続可能な開発が重要な考え方であることを理解している。	写真や資料から地球規模の課題について必要な情報を的確に読み取れる。	ツバルなど海面の上昇で国土の水没など、重大な課題であることを理解している。
		5	2節 資源・エネルギー問題 1 資源をめぐる時代的な流れ 2 石油にかわるエネルギーの開発 3 鉱産資源をめぐる問題 4 リサイクル社会の到来 5 資源利用にたよりすぎない社会に向けて	資源・エネルギーの生産と消費について、時代とともに変化してきていることに関心がある。	資源・エネルギーの生産地には遍在性があり、その獲得競争が戦争や紛争の原因となっていることを理解している。	資源・エネルギーの図表を読み取り、発表できる。主な国の発電エネルギーの特徴を図表から理解できる。	持続可能な社会を目指して「3R社会」の確立が重要であることを知る。ドイツやスイスの事例を知る。
		2	3節 増える人口・移動する人びと 1 地域ごとに異なる人口問題 2 移民の歴史と、それにともなう問題	人口問題に関心を持ち、積極的に学習に取り組んでいる。	世界人口の過去の推移と今後の動向について理解している。	人口ピラミッドを正確に読み取れ、複数の国を比較することができる。	現代の人口移動の背景や課題について理解を深めることができる。
		2	4節 世界の食料問題 1 世界の食料需給と発展途上国の栄養不足人口 2 先進国の食料・栄養問題	世界の食料生産が増加しているのに飢餓問題がなくならないことに大きな関心がある。	世界の食料需給に不均衡があり、発展途上国には十分な食料が分配されていない現実を理解している。	食料問題に関する主題図を読み取ることができる。先進国の食料問題を図表から理解できる。	世界の栄養不足地域と栄養不足の原因について、図表などから理解している。

月	配当時間	編	学習内容（目次）	評価の観点			
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用	知識・理解
1 1 5 1 2 月	2	2	5節 世界の居住・都市問題 1 都市の成立と発展途上国の都市問題 2 先進国の都市問題	都市への人口集中について興味関心を持っている。発展途上国の都市問題にも関心がある。	都市への人口移動がもたらす諸問題について理解できる。先進国の都市問題も考察できる。	写真や図表から都市問題を読み取り、先進国と発展途上国それぞれの課題を把握できる。	インナーシティ問題に対するロンドンなどの対応について知識がある。
			6節 国際協力 1 さまざまな国際協力 2 真の国際協力をめざして	持続可能な開発を実行するには、発展途上国の貧困問題の解決が必要であり、そのためには国際協力が欠かせないことに関心がある。	日本や先進国が国際支援を行う背景について考察できる。どのような国際的援助活動があるか調べられる。	日本の海外援助の内容や特徴について図表や資料の活用などで理解をできる。	日本のODAやNGOについての実績や内容について知る。
	2	第2編	第1章 日常生活と結びついた地図				
			1 身近な地図を集めてみよう 2 地図のきまりを知ろう 3 地形図を読む 特集① 地形図からさまざまなものを読み取ってみよう！ 4 さまざまな情報を地図で表現してみよう	地図からさまざまな情報を読み取ろうとしている。地形図に興味・関心があり、情報を活用しようと意欲的である。	地形図から地形の特徴を読み取ったり、新旧の地形図の比較して、土地の改変などを考察できる。地理情報システムについてその有用性について理解できる。	地形図の読図をする基本的な技能と知識を持っている。集めた情報を地図化することができる。GISについて基本的な情報を得ることができる。	地形図の図式、新しい地図記号などの知識がある。主な特徴ある地形、扇状地や河岸段丘などを地形図から判断できる。
			第2章 自然環境と防災				
	7	7	1 日本列島の大地形 2 日本列島の気候 特集② ハザードマップはどうしてできたの？ 3 地震・津波による災害と防災 特集③ 新旧の地形図から土地の改変を探ろう！ 4 火山災害 特集④ 富士山が噴火したら？ 5 洪水による災害と防災 特集⑤ 水害に対する工夫を読み取ろう 6 土砂災害と防災	日本列島の地形や気候について関心がある。世界からみるとどのような場所に位置し、地形的な特色があるのか興味がある。自然環境と防災について地図や、地域を知ることの重要性に気が付く。	日本列島が変動帯に位置することを、プレートテクトニクスで説明できる。津波が発生するしくみについて理解している。津波は第1波よりも第2波が大きいこともあることを知る。河川洪水と地形の関係を知る。	新旧の地形図の比較から土地の改変を知ることができる。各種のハザードマップを読み取り活用できる。水害に対する工夫を地形図から読み取り活用できる。土砂災害の起こりやすい地域を地形から判断できる。	ハザードマップが防災計画を策定する、国や地方自治体によって作成されていることを知る。富士山が現在も活動中の火山であること、約300年前の宝永噴火と同様の噴火が現代社会にもたらす影響について知る。
			第3章 身近な地域の地理的課題と地域調査				
	夏 休 み		1 地域調査の方法とその手順 2 地域調査をしてみよう一つくば エクスプレス沿線を調べる 特集⑥ 街の変化を読み取ってみよう！ 特集⑦ 空中写真から地域を探ろう！ 3 調査のまとめ方と地図づくり 4 調査からわかったことを共有しよう	地域調査の有用性を知り、身近な地域の調査に興味・関心が高い。地図や各種資料に基づき調査をすることで、地域の実態を知ることに関心がある	地域調査には事前の文献調査と実際に地域に出かけて観察や計測、聞き取り調査など事前の準備が重要であることを理解している。	事前準備の手順・段取りを的確にこなすことができる。調査結果をまとめて報告書など作成できる。調査結果を発表する方法について知る。空中写真から地域の特色を読み取ることができる。	地域調査の事前調査にはインターネットが便利である一方で、その限界について十分な理解がある。